



<https://www.kenchikunet.org> E-mail: kenchiku@d2.dion.ne.jp

No.66

特定非営利活動法人(NPO法人)
建築ネットワークセンター
〒162-0042 東京都新宿区早稲田町74番地
鰯淵ビル301
TEL 03-6457-3178 FAX 03-6457-3179

能登半島地震から6か月余

進めぬ復旧、在宅避難者は生活困難に 今も救援段階、優先すべきは“命を守る”

建築ネットワークセンター理事 高瀬 康正

能登半島地震が発災して6か月が経ちました。通常、発災してから救援→復旧→復興という流れを辿ることになります。政府や石川県は「創造的復興」とか「能登らしくしなやかな復興を目指す」などと言っていますが、それは絵空事で、現在はまだ救援の段階だと思います。

避難所に2,200人が避難しています。4,800戸の仮設住宅が完成したものの入居できず、被害を受けた自宅に“在宅避難”している人が5,483人います(石川県調査)。業者の不足で自宅の応急修理もできず、水道が通水していないため不自由な生活を強いられている人もいます。

医療・介護が届かない地域も

現在、犠牲者は299人です。このうち災害関連死が70人です。災害関連死は避難中の慣れない生活による疲労が原因で亡くなる、持病が悪化して亡くなるなどが事例として示されています。さらに100人余が申請中です。関連死が増えている原因は様々ですが、大きな要因は先に指摘した在宅避難者が増えていることです。

能登では小さい集落がたくさんあり、地震時に一時孤立状態になりました。現在でも必要な情報が届かない、医療や介護を受けることが困



危惧される関連死。家屋の応急修理も急務

難などの問題があります。

地震で多くの人をなくした上にさらに関連死が増えるような事態を招いてはなりません。政府と自治体は“命を守る”ということに傾注すべきです。

先日、当建築ネットワークセンターに能登のお寺の住職から液状化と思われる被害の修理を行う上での相談がありました。家屋などの応急修理も差し迫った課題です。現地に足を運び実情をつぶさに見て何がいま必要なのか、お互いに考え行動に移しましょう。

2024年度マンション連続講座 新宿区助成事業 開講

資産価値を高める知恵と工夫

受講申込みは随時、受付中

2024年度マンション連続講座が6月に開講しました。例年通り12月まで毎月1回、計7回(12月はマンション交流会)の講座が生まれ、快適なマンションライフを送るための知恵と条件を学びます。

新宿区の助成事業に認定されて4年目となる今年度は、会場と併せZoom参加が定着し、参加者の裾野を広げています。

第1回は、NPO建築ネットワークセンターの榎本武光副理事長(法学研究者)が「これからのマンション管理の課題」について、区分所有法制の見直しなど最新の動き、情報を盛り込み



マンションの価値を守るためには何が必要なのか...

講義しました。

個別講座ごとに受講の申し込みを受け付けています。ぜひご活用ください。

講座は午後6時30分～8時30分、会場は新宿区立新宿消費生活センター分館(高田馬場駅)、各回資料代 500円。
申し込みは事務局 03(6457)3178
kenchiku@d2.dion.ne.jp

2024年度 マンション連続講座 (概要)

日程	テーマ	講師
1 6/26 (水) <終了>	これからのマンション管理の課題	榎本武光(法学研究者) NPO建築ネットワークセンター
2 7/24 (水) <終了>	長く住み続けるための 長期修繕計画と積立金	藤井勝明(一級建築士) NPO建築ネットワークセンター
3 8/28 (水)	マンションの損害保険の基礎知識	伊藤昌弘 グッド保険サービス
4 9/25 (水)	給排水管の更生・更新工事のポイント	(一級建築士) NPO建築ネットワークセンター
5 10/23 (水)	管理会社の基礎知識	松岡康榮(マンション管理士) NPO建築ネットワークセンター
6 11/27 (水)	マンションの防災とコミュニティ活動	未定
7 12/18 (水)	マンション交流会	